アニメ動画から絵本に進む。三鷹市在住。

東京都三鷹市上連雀 1-12-17 話 0422-60-2211

AX 0422-60-2200 メール inokichi@bun-shin.co.ii

東京都西部公園緑地事務所

東京都井の頭自然文化園 井の頭恩賜公園100年実行委員会 NPO 法人みたか都市観光協会 **社団法人武蔵野市観光機構** 

株式会社文伸 / ぶんしん出版

INFOR MATION

### 井の頭白然文化開

「Animaless Zoo Project INOKASHIRA 在るモノと見えないトコロ 井の頭の動物たち」 井の頭自然文化園をテーマに、油絵、水墨画、彫刻など、様々な素材で、日々変わりゆく文化園の 様子や動物たちを表現している、笛田亜希氏の作品展を実施します。新作(200号のはな子の油 絵等)あわせて30余点を展示します。

日 時:平成26年1月9日(木)~平成26年4月6日(日) 9時30分~16時30分

場 所:動物園(本園)彫刻館B館





2014年3月~4月



詳しくはホームページをご覧ください。http://www.tokyo-zoo.net/zoo/ino/index.html

### 井の頭恩賜公園

次世代を担う子供たちや公園を訪れる人たちに、わかりやすく ネイチャー☆プログラム 楽しく「自然の仕組み」を学び遊んでもらうプログラムです。

あるいは1週間後に訪れて、改めてオーダー 3月9日(日)、3月23日(日) ● グリーンバード(井の頭池付近 ツリー☆マジック(第二公園) 3月8日(土)

あおぞら実験室(井の頭池付近) 3月2日(日) アートマーケッツに参加し始めてから吉祥 どんぐり広場(御殿山広場) 3月13日(木) 猫の譲渡会 (野外ステージ) 3月16日(日)

5月5日 (月・祝)

● 吉祥寺駅南北自由通路開通記念イベント(野外ステージ) 4月13日(日) ● 猫の譲渡会 (野外ステージ) 4月20日(日) 吉祥寺音楽祭(野外ステージ) 4月29日 (火・祝)

詳しくはホームページをご覧ください。 http://www.i-np.jp/index.html

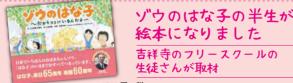
井の頭かんさつ会

AREA WEST(野外ステージ)

● 第107回 「春をさがそう」 3月15日(土)10:00~12:00

4月13日(日)10:00~12:00

事前申し込みが必要です。詳細や申し込み方法はHP http://www.kansatsukai.net/ に載せます



『アジアゾウはな子67歳のお祝い会』が2月2日に開かれましたが、当日、 **絃本『ゾウのはな子 ―だからココにいるんだよ―』も販売されました。** この絵本は、井の頭自然文化園のゾウのはな子の半生を描いたものです。絵 本は、武蔵野市にあるフリースクール上田学園の生徒さんたちが、2006年 から取材を始めて絵と文にまとめ、井の頭自然文化園の成島園長さんに監修

をしていただいたものです。現在、吉祥寺や 三鷹駅周辺の書店で販売中です。なお、1冊 買うと 87(はな)円が井の頭自然文化園の動 物たちの飼育支援にカンパされます。

写真:左から上田学園学園長上田早苗さん 絵本を震災被災地に2千冊贈ったタイのサラサスさん

サンプルの真鍮バングルが

Allen's Craftさん (真鍮のパンケル作家

トントントントン……。真鍮を打つ槌の響きに、 歩みを止める人の山ができます。20~30文字の 好きなアルファベットが刻印された、腕の太さと カーブにぴったりの、世界にたった一つのバング レが、ものの10分ほどで完成します。

「井の頭公園らしいお土産がつくりたい」と、 Allen's Craftの野﨑浩孝さんは言います。加丁 し、やすく、求めやすい価格の真鍮は格好の素材。

「思い入れのある言葉が入って、それをいつでも月にできるのはバングルだから こそ。仮に同じ言葉を刻んでも、一つひとつばらつきができる。その人がいな ければ完成しないところが、一番の価値なんです」。刻む言葉は、子どもや恋 人の名前、座右の銘などなど。文字の組み合わせに悩んで、一巡りしてから、

する人が多いのだとか。

寺を好きになり、昨年7月には吉祥寺に シルバーや真鍮のアクセサリー、革製品の 工房を構えました。それでもほぼ毎週末 井の頭公園に出店しています。

小田原 澪 (おだわらみお) 編集者・ライター。フィールドは多摩。三鷹市在住

ひと文字ずつ丁寧に刻印 

# はな子67歳のお祝い会 ― 今年のケーキは「あんまん」 ―

### 「はな子」 未公認キャラクターが

毎年1月1日に誕生日を迎える、アジアゾウのは は子。2月2日にお祝い会を開催しました。

雨の予報が出ており、万が一の場合は、彫刻館 祝してくれたのでしょうか?午前中少し雨がぱらつし た程度で、無事に開催することができました。

昨年引き続き今年も武蔵野市長・三鷹市長、そして 力いただいたサラサス一家もタイから駆けつけてくださり 国際的なお祝い会となりました。

ちょっと寒い時期の開催となったため、はな子の体調を 楽しみの誕生ケーキですが、今年は、タイ王国大使館か ら送られたイチゴと、なんと「あんまん」をメインに、飼育 係の手作りのものが登場しました。

はな子も普段よりちょっと高級なおやつを喜んで食べて くれたようです。

(井の頭自然文化園 教育普及係 大橋直哉

井の頭池でも間違いなく絶滅危惧IA類で、成体を見かけ

ることもまれで、幼体(子ガメ)は近年まったく見つかってい ませんでした。ところが、かいぼりの準備期間中に、我々は 子ガメを相次いで2匹発見しました。今回のかいぼりで明ら かになったいろいろなことのうち、いちばんの朗報ではない かと思います。子ガメが見つかったのは、ひょうたん池のア サザなどが生えている場所です。ニホンイシガメの幼体が暮 らすには、水生植物が茂る浅い水域が必要なのです。そうV う場所なら親ガメが産卵のため陸に上がるのも楽でしょう。 かいぼりでは、他のカメ類が夏に見かける数のほんの一部し か捕獲されなかったのに、ニホンイシガメは見かける数より 多い6匹の成体が発見・保護されました。このカメが耐寒性 に優れていることと、冬眠場所が他のカメとは少し違うから ではないかと考えています。

小魚、エビ類、水生昆虫、水草などを食べる雑食性で、陸上で

も採食することがあるため、近年分布を広げている外来動物で

ライグマに襲われる例も増えているそうです。

ほどになります。クサガメとの違いは、黄褐色の背甲に盛り 捕獲された成体は弁天池に 上がった筋が1本(クサガメは3本)あり、後縁がギザギザし 放されました。春以降に再捕 ていること、首や頭が細く模様がないこと、尾が長いことな どです。環境省のレッドリストでは準絶滅危惧種、東京都で は絶滅危惧 I A 類 (極めて絶滅の危険性が高い種) に指定され 将来を担う子ガメたちは現在 ています。数が減っている理由は、生息適地の減少、外来種 ミシシッピアカミミガメの生息・採食・繁殖に対する圧力、 に戻される予定です。

見つかった子ガメ



井の頭かんさつ会 田中 利秋 井の頭かんさつ会代表。毎月自然観察会を開催。 (たなかとしあき) 池の外来魚問題にも取り組む。

日本固有種のカメです。メスは甲長20cmほど、オスは13cm

江戸時代以降に渡来した近縁のクサガメとの交雑などです。

日本最高齢のゾウ、井 の頭自然文化園の「は な子」の未公認キャラ クターが登場しました。 はな子を応援したい勝 手連が作ったものです。 お披露目は2月2日の 『はな子 67 歳のお祝 い会』会場で、お祝い 会に駆けつけてくれた 参加者にはな子のシー ルが無料で配られま

ニホンイシガメ

最大の朗報



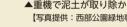
てをします。

\楽園はよみがえるか

カイツブリは、得意の 潜水で小魚やエビを捕ま

井の頭恩賜公園の歩み

4 3 年に渡る丁事



1級合格者の特別ツアーを開催



昨年12月に行われた『いのけん』の1級合格者の特典として企画されたのが今回の特 別ツアーです。合格者へのご褒美と、井の頭公園の語り部・伝道師となって活躍していた。 だく期待を込めての一同顔合わせです。

大雪が残る2月16日、まず、自然文化園の案内とバックヤード(裏方部分)見学です。 動物達のエサの備蓄倉庫、調理室、北村西望の作品収納庫という、普段見学できない所を 見学。また、展示中の『笛田亜希作品展』の作家自らの作品説明も聞けたおまけ付でした。 昼食後は、参加者全員の自己紹介。やはり、1級合格者はすごいと思うような試験対策の ご披露数々。

午後からは、井の頭池のかいぼり説明と池の底に下りる体験ツアーです。雪が積もる池 底から見る景色を堪能した後、かいぼり工事の大変さや、かいぼりによる成果や課題等を お聞きしました。



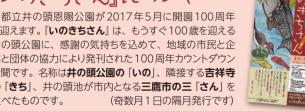
える、小さな水鳥です。 池や川にカップルで縄張 りを作って暮らし、子育

# 



写真 古賀 親宗(こがもとのり) |983年 福岡県柳川市生まれ。三鷹市在住のフォトグラファー。

を迎えます。『いのきちさん』は、もうすぐ100歳を迎える 井の頭公園に、感謝の気持ちを込めて、地域の市民と企 **の** [きち]、井の頭池が市内となる**三鷹市の三** [さん]





『いのきちさん』の感想やお問合せはメールでも受付けています。 inokichi@bun-shin.co.jp

『いのきちさん』を置いていただける所を募集しています。







# 田中和砂の井の頭池かいほり」が実現しました。 多くの人の願いがひとつになり、外来魚駆除と水質改善を目指す「かいぼり」が実現しました。

24日、ついに池底が露出しました。その 光景はまるで泥干潟。泥の深さは予想を超 えていました。水草 (沈水植物) は1本もあ りません。魚たちは、お茶の水池の中央と ボート池の池尻に残った水たまりに集まって いるようです。



池底が現れた池



泥の深さを調べるスタッフ

り上がったかいぼりイベント (1月25・26E

隣の小中学校の生徒や、専門学校の学生も図

体で参加しました。その期間中、外来魚も在

来魚も、イベントで獲れた以上の数が捕獲

大賑わいの かいぼりステーション

救出されました。

イベント時の展示・解説テントが、常設のかい ぎりステーションとして生まれ変わり、生態工房、 底の泥、かいぼりの道具なども展示されました。 3月14日まで開設される予定です。捕獲結果な どは100年実行委員会のHPにも掲載されます。

課外授業の生徒たち

## 大変な排水作業

今回のかいぼりでいちばん大変だったのは池の排水でしょう。神田川へ 泥水や魚を流すことは許されず、川が涸れないよう1日2,000トン以上の 水を流すことが必要で、その水源の弁天池の水位が下がりすぎも上がりす ぎもしないように常に監視しなければならなかったからです。最初の入札に 応札がなく、かいぼりが遅れることも心配されましたが、請け負った小川設 備工業所が工事を急ぎ、イベントに間に合わせてくれました。底泥が深す ぎて土木機械を入れられないため、その後は現場監督がたった1人で手作

彼は水位の監視や ポンプの管理のため 何日も現場に泊まり 込んだそうです。





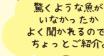


みお筋を掘る

### 見えた井の頭池の真実

水が引くにつれて見えてきたのは、二百数十台の自転車など、沈んでい た大量の投棄物。誰も想像していなかった量でした。モラルが低く、池への 愛情も他人への思いやりもない行為。本当に「お・も・て・な・し」の国と 言えるのでしょうか。大きなものは職員と廃棄物処理業者が回収し、ビンや 缶など小さなゴミはボランティアが拾いました。外国からの観光客にお見せ しても恥ずかしくない池に少し近づきました。

# ビックリ



が、井の頭では植物も食べていたようです。

井の頭かんさつ会は平成25年度の調査活動でオオクチバスを約4.300

匹、ブルーギルを約82,200匹捕獲しました。かいぼりで獲れた数がそれぞ

れ1.159匹と11.238匹ですから、外来魚の圧力が減ってヌマチチブとテ

ナガエビは数を増やすことができたようです。それに対して、それらより弱

い生き物は追い出され、残っている肉食魚から逃れることができなかったの

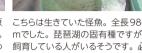
コイ、フナやナマズなどはやはり大きな個体ばかりでした。それらの魚は

どで全国へ報じられました。公園の関係者もこれほど注目されるとは想像し

ていなかったでしょう。全国への波及効果に期待してしまいます。







### けがないのに、捨てる人がいます。ず大きくなりすぎて持て余すのに。 捕まえられなかった生き物

外来種のミシシッピアカミミガメ、アメリカザリガニ、ウシガエルを捕獲し

たかったのに、ほとんど見つけられませんでした。泥に潜って隠れているよ

うです。在来種のクサガメ、スッポン、ドジョウなども同じだと思います。

### ●保護が間に合わなかった在来程

ではないかと思います。

●子育てができない池

●二枚貝がいない

もしれません。

●ものすごい注目度

水草が生えた浅場がないと繁殖できないのです。

タナゴ類の繁殖に必要なカラスガイなどの二

枚貝は、かなり以前に絶滅したとされています。

今回あちこち探しましたが、見つかったのはや

や古い貝殻だけでした。大量のコイや予想以」

に多かったアオウオなどが二枚貝絶滅の原因が

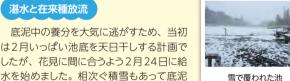
ゼ科の魚はヌマチチブが 2,737 匹だったのに対 匹も見つかりませんでした。また、テナガエビ 2,253 匹に対して、スジエビはわずか3 匹です。 いずれもほんの数年前は必ず見られたのに、今 は絶滅寸前か絶滅してしまったようです。



絶滅した(?)ウキゴリ

見つかった二枚貝の殻

湛水と在来種放流 底泥中の養分を大気に逃がすため、当初



は乾きませんでした。外来魚もいくらか生き 残ったことでしょう。今回解決できなかった問題は、平成27年度と29 年度にも予定されているかいぼりで解決されはずです。いけすで保護さ れている在来種は、3月中ごろ元の池に戻される予定です。

### みんなで良くする井の頭池

前例のない大事業は、3年ほどで異動していく都職員だけに任せても なかなか実現しません。長年活動を続ける複数の地元団体に後押しさ れ、熱意があり前例にとらわれない職員によって、画期的なかいぼりが 実現しました。かつていた職員たちが駆けつけてくれたのも、かいぼり で嬉しかったことです。今回は市民ボランティアも募集。とくに、事前 講習を伴うかいぼり隊には熱心な人たちが集まり、大活躍しました。か いぼり隊は今後も活動を継続するそうです。そんな気運がもっと広がれ



ば、井の頭池は必ずよみがえります。



(井の頭かんさつ会 代表)

## 約25年ぶりに現れた池底

ポンプによる排水開始から6日後の1月



房、コアボランティア「井の頭かいぼり隊」. 半日ボランティア「おさかなレスキュー隊」、井の頭自然文化園、東京吉 祥寺ライオンズクラブ、そして井の頭かんさつ会などです。各地の活動 団体からの応援もありました。

捕獲が開始されると、コイ、ソウギョ、アオウオ、ハクレン、フナ類、 オオクチバスなどの大型魚が次々に陸揚げされました。すべての生き物 は仕分けテントに運ばれ、外来種と在来種に仕分けられ、計測・記録 されます。在来種は種類により、水生物園水路の「いけす」か、今回は かいぼりをしない弁天池に放されました。2日間の捕獲数は、外来種約 5.700匹、在来種約3.000匹でした。



▼ ボランティアの「かいぼり隊」は、



仕分けテント



魚が減ったら 追い込んで投網が有効



イベントで獲り切れなかった大型魚、多 水を抜き、できるだけ多くの生き物を捕獲

地道な作業

## その後も続いた魚獲り



救出する作業が地道に続けられました。近